



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

関節リウマチモデル動物を用いた鍼治療の有効性の検討

| | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 赤尾, 清剛 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12099/753 |

は し が き

関節リウマチの原因は十分に明らかにされていないことから、確立された治療方法がないのが現状である。我々は関節リウマチの治療に針治療を併用しているが、針治療は関節の疼痛のコントロールだけでなく、関節の腫脹に対しても治療効果があることを経験している。そこで、針刺激は関節の炎症を抑制する作用があるという仮説をたて、関節リウマチのマウス動物実験モデルの病巣に針刺激を与え、免疫学的に検討する研究を計画した。

本書は、科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））「慢性関節リウマチモデル動物を用いた針治療の有効性の検討」についての研究に関する総括的研究成果報告書である。

研究組織

研究代表者：赤尾清剛（岐阜大学大学院医学研究科 助教授）

研究分担者：藤原久義（岐阜大学大学院医学研究科 教授）

研究分担者：大野高政（岐阜大学大学院医学研究科 助手）